

輸入元

セントレードＭ.Ｅ. 株式会社

〒110-0016　東京都台東区台東1-24-9

お客様サービスセンター
営業時間　/ 9：30〜17：30
（土・日・祝祭日・弊社休日を除く）
ＴＥＬ：（０３）３８３４-３６３１
ＦＡＸ：（０３）５６８８-１５７８



DVDプレーヤー
型名：ＡＤＰ-００２Ｓ

取扱説明書

- お買い上げありがとうございました。
- ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ正しくお使いください。
- この取扱説明書は必ず保管してください。





目次

安全にお使い頂く為に

⚡	左記表示の三角形の表示マークは使用者に対しての注意を意味しています。本体内部に触れると感電の恐れのある、高電圧の絶縁されていない部分の存在を表します。
⚠	取扱説明書中の左記表示の三角形の表示マークは使用者に対して重要な操作及び保守に関する説明を表します。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

⚠ **警告**	この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

⚠警告

本機を雨や湿気にさらさないでください。火災や感電の危険があります。本体カバーを開け分解しないでください。高電圧の部分があり感電の原因となり大変危険ですので、サービスマン以外は絶対に分解をしないでください。

⚠注意

電源プラグは、完全に差し込んでください。

サービスマン以外は本体カバーを外さないでください。
DVDプレーヤーはレーザー装置を使用しています。レーザービームからの危険を避ける為、本体カバーを開けないでください。開けてインターロックが外れた場合、レーザー光線が照射され危険です。
レーザー光線が目に当たると失明などの視力障害を起こすことがあります。安全にお使い頂く為に、本説明書をよくお読みいただき、大切に保管してください。修理の必要な場合は、販売店にお持ちいただくか、お客様サービスセンターへお問い合わせください。

FCC規則第15項に規定された、デジタルデバイスクラスB規格に対する限定規定を満たすようにテストされ確認されています。これらの規制は家庭内での取り付けの際の電波障害を防ぐ事を目的としています。本機は電波を発生する可能性がありますので、説明書に従わず、誤った取り扱いをした場合は、電波通信の障害の原因になります。又、通常の使用で電波障害が起こらないと言う保証ではありません。本機がラジオやテレビの受信障害の原因である場合は電源をお切り頂き、下記のいずれかの方法で修正することができます。

○ 受信アンテナの向きや設置位置を変える。
○ 受信機と本体の距離を離す。
○ 技術者に相談する。
○ テレビまたはラジオとは別の回路にあるコンセントに本機を接続する。

FCC警告
継続的にFCCルールに適合する為に（例・コンピュータや半永久な装置に接続するときは、シールドされたインターフェースケーブルのみを使用）FCC規則適合機関で、認められていない変更や修正を本機に実施している場合は、本機を使用することができません。

リージョンコード（地域コード）に関して
DVDが世界の異なる地域に発表されて以来、全てのDVDプレーヤーには地域ごとの異なるリージョンコードが与えられています。またディスク自体にも同様にリージョンコードがつけられ、これによりDVDプレーヤーのコードとDVDソフトのコードが一致しないと再生できない方式になっています。日本のリージョンコードは2番で、DVDソフトは2番又はALLと表記されたディスクをご使用いただけます。

安全に関する情報
使用、調整、性能に関する説明をよくお読みください。誤った取り扱いをすると、人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示します。この取扱説明書をよくお読み頂き、取りつけ及び操作に関して内容を良くご理解ください。また取扱説明書はいつでもご利用できる場所へ保管してください。

1 本機を操作される前にこの取扱説明書を全てお読みください。

2 本体に貼られている注意事項や説明文のシールを剥がさないでください。

3 全ての操作は取扱説明書に従いおすすめください。

4 クリーニングをされるときは必ず、製品の電源がプラグから抜かれた状態で行ってください。クリーニングの際は、軽く湿らせた布でふいてください。液体及びスプレー類の洗浄剤は使用しないでください。

5 本機に後から、市販のAV関連アクセサリーなどを取りつける事は危険ですのでおやめください。

6 水の近くや湿度の高い所で本機を使用しないでください。（例・浴槽の近く、キッチン水まわり、湿度の高い地下室など）

7 本機を不安定なスタンド、三脚、棚、テーブルの様な場所に設置しないでください。落下による人体の重大傷害を負う可能性ならびに、本機故障の可能性があります。必ず安定した場所に設置してください。

8 本機を乗せたまま台を移動させる等の行為は落下の原因になりますのでおやめください。

9 本体の格子状の穴は、本体の熱を逃がす為の換気口です。ふさいだり、カバーをかぶせないでください。本体をベッドやソファーまたは布の上に絶対に置かないでください。換気口をふさぎ火災の原因になります。

安全にお使い頂く為に

10 火災などの危険を避ける為、本機は必ず電源ラベルに表示されている環境でご使用ください。（交流100ボルト、電源周波数は50Hz/60Hzのいずれかの地域）
なおご自宅の電源タイプがわからない場合は、電力会社にご確認ください。

電源コードの保護に関して
漏電や火災の原因になりますので、次の事を必ずお守りください。電源コードに重いものを載せたり、折り曲げたり、引っ張ったり、高温になる場所に近づけないでください。コードの絶縁部分が剥がれて危険です。電源コードを抜く際は、必ず電源プラグを持ち抜いてください。電源コードに傷やひびのある場合は、電源を抜き電気店にご相談ください。万一、煙、異臭、通常と違う異なる音を聞いた場合は、すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグを抜いてください。煙が出なくなる事を確認して販売店に修理をご依頼ください。その状態で使用しますと火災や感電の原因になります。

11 雷や嵐の時または、長期間ご使用されない場合は、感電や火災を避けるため必ず電源を抜いてください。

12 延長コードを使う時は、必ず差し込み器具の最大消費電力をご確認ください。タコ足配線などの誤った接続方法は、コンセント及び延長コードに負担がかかり、火災や漏電などの事故の原因になりますのでおやめください。

13 異物や液体が入らないように本体の上に花瓶、植木、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器やアクセサリーなどの小さな貴金属を置かないでください。こぼれたり、本体の中に入った場合は、感電や火災の原因になり大変危険です。

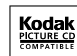
14 ご自分での修理は、おやめください。ふたを開けたりしますと高電圧の部分があり、人が死亡または、重傷を負う可能性がありますので、絶対におやめください。故障の際は、お客様サービスセンターへお問い合わせください。

製品の特長

本機はデジタルビデオディスクユニバーサルDVDビデオ規格に適合しています。DVDならではの高品質な映像と別売りの機器を組み合わせる事により、マルチチャンネルサウンドをご体感頂けます。設定は、画面上で確認しながらリモコンで行えます。また、音声トラックの選択、サブタイトル（字幕）の言語選択、カメラアングル切り替え機能（再生ディスクが対応の場合のみ）、Dolby Digital／DST用のデジタル音声出力端子、ペアレンタルロック機能（教育上子供への有害な映像の規制）、CD再生機能及びMP3のディスク再生機能などを備えています。

下記のマークのディスクが再生可能です。











付属品
DVDプレーヤーを箱からお出し頂く際に下記の物が入っているかご確認ください。
□ DVDプレーヤー1台　□ 取扱説明書　1冊　□ 映像用ピンコード1本（黄）　□ リモコン1台
□ 単3形電池2本（テスト用）　□ 音声用ピンコード1本（赤、白）

・梱包内容が上記内容と異なる場合は販売店にご確認ください。また、梱包材及びパッケージは保管し、持ち運びや修理を依頼される際ご利用ください。

DVDプレーヤーの設置場所
・表面が平らなところへ設置してください。
・ラジオやビデオデッキの近くに置かないでください。映像が乱れたり画質が低下します。その様な場合は、ラジオやビデオデッキから本機を離してください。
・キャビネットの中に設置する場合は、こもった熱を逃がす為本体の周りに2.5cm以上のスペースを必ずお取りください。
・窓を閉めきった自動車の中や、直射日光の当たるような場所に置かないでください。ボディ内部の精密機器に悪影響を及ぼし、火災や、事故の原因になります。

DVDプレーヤー使用上の注意
DVDプレーヤーは精密機器です。本機のピックアップレンズ及び周辺部品が汚れたり磨耗しますと映像の低下につながります。ピックアップレンズのクリーニングは市販の専用クリーニングディスクをご利用ください。

ディスクの取り扱い

お願い

・ディスクの再生面を手で直接触らないでください。
・ディスクにテープや紙などを貼らないでください。

注意

・ディスクのダメージに関して弊社は責任を負いかねます。
・ディスクは各々のディスクに書かれている保管法に従い正しく保管してください。

ディスクのクリーニング方法

・ディスク上の指紋などの汚れは、映像及び音声の低下につながります。クリーニングは柔らかい布で円盤の内側より外側に向かう様にふき取り、ディスクはいつでもきれいな状態でご使用ください。
・よごれのひどい場合は、軽く水を染みこませた柔らかい布で拭き取り、その後乾いた布でお拭き取りください。
・シンナーやベンジンなどは、ご使用にならないでください。クリーナーをご使用の際は、市販の専用クリーニングディスクをお使いください。

ディスクの保管

・高温多湿をさけ、直射日光や高温になる物の近くには保管しないでください。
・ディスクは縦向きで保管してください。積み重ねて保管しますと、ケースや円盤のそりの原因になりますのでおやめください。

テレビ方式

・本機はNTSC方式及びPAL/3.58方式のテレビに対応しています。

本機は下記表のディスクが再生可能です

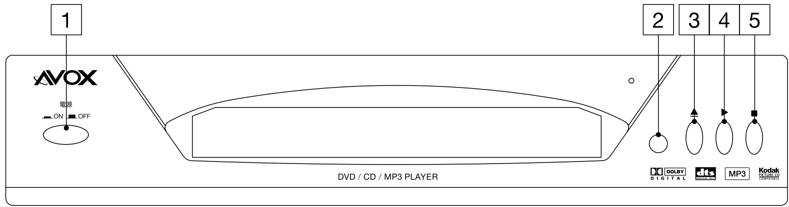
	内容	ディスク外寸	最大再生時間
DVD video disc	Audio + Video	12cm	(片面ディスク) 約4時間
DVD video disc	Audio + Video	12cm	(片面二層ディスク) 約8時間
DVD video disc	Audio + Video	12cm	(両面ディスク) 約8時間
Audio CD	Audio 12cm	12cm	74分
Audio CD	Audio 8cm	8cm	20分
MP3 CD	Audio	12cm	圧縮方式により異なる
JPEG	Picture	12cm	
Kodak Picture CD	Picture	12cm	

CD-R、CD-RW、DVD±R、DVD±RWのディスクが再生できます。

DVD±R、DVD±RWの再生
これらのディスクを再生する場合は、必ず録画元でファイナライズが必要になります。ビデオモードで録画したディスクは、本機で再生可能です。但し一部のディスクでは、再生が出来ない場合があります。詳しい内容に関しましては、録画機の説明書をご参照ください。

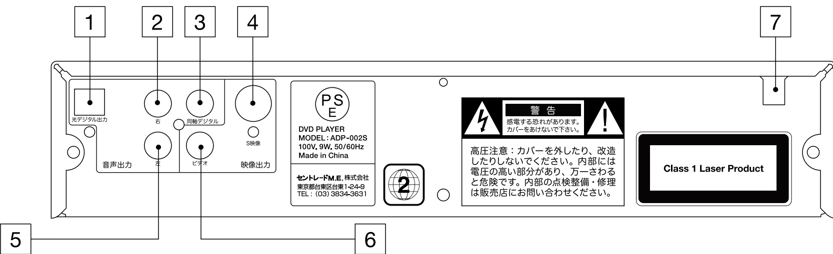
各部の名称

本体フロントパネル



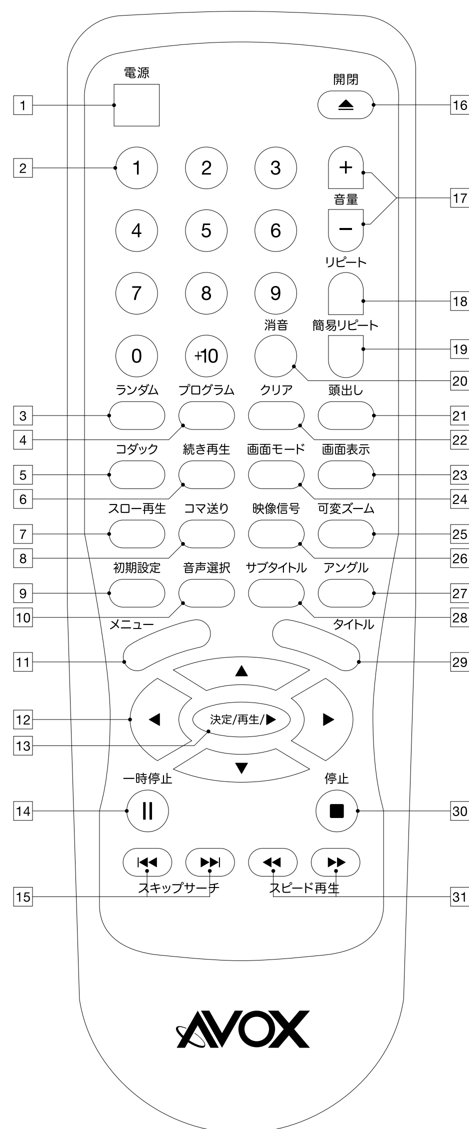
1 電源ボタン　2 リモートセンサー　3 トレー開/閉ボタン
4 再生ボタン　5 停止ボタン

本体背面パネル



1 光デジタル出力端子　2 アナログオーディオ出力端子(右)　3 同軸デジタル出力端子
4 S映像出力端子　5 アナログオーディオ出力端子(左)
6 ビデオ出力端子コード　7 電源コード(AC 100V. 50/60Hz)

DVDリモコン各名称



1. 電源
2. 数字ボタン
3. ランダム
4. プログラム
5. コダック
6. 続き再生
7. スロー再生
8. コマ送り
9. 初期設定
10. 音声選択
11. メニュー
12. 方向キー
13. 決定/再生/▶
14. 一時停止
15. スキップサーチ
16. 開閉
17. 音量
18. リピート
19. 簡易リピート
20. 消音
21. 頭出し
22. クリア
23. 画面表示
24. 画面モード
25. 可変ズーム
26. 映像信号
27. アングル
28. サブタイトル
29. タイトル
30. 停止
31. スピード再生

リモコンに関して

リモコンの準備

本機を操作される前に電池をリモコンに入れてください。

1　リモコン裏の電池ケースのふたを開けます。

2　単3形電池を2本入れます。電池の向きに注意してください。

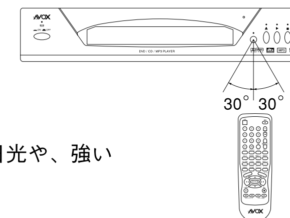
3　電池ケースのふたを閉じます。

お願い　・付属されておりますリモコン用電池はテスト用ですので、お早めに新しい電池に入れ替えてください。

リモコンによる操作範囲

距離：リモコンで操作される場合、リモートセンサー前から7m

操作角度：リモートセンサーの前から30度の角度



お願い　・DVDプレーヤーのリモートセンサー部分は直射日光や、強い光源が当たらないようにしてください。



・電池は間違った方法で使用しますと液漏れ腐食または、爆発の恐れがあります。
・電池のプラスとマイナスの向きを確かめ正しく入れてください。
・大変危険ですので、充電/加熱/分解/ショートをさせないでください。
・リモコンの電池は、古いものと新しいものを一緒に入れないでください。
・長期間ご使用されないときは、電池を取り外してください。
・リモコンの操作距離が短くなった場合は、早めに電池を交換してください。
・液漏れをしている場合は、電池を取り出し新しい電池に交換してください。

リモコンの電源ボタンはスタンバイ用ですので、電源を入れるときは必ず本体の電源をお入れください。

・消音ボタンはプレーヤーからの音声をカットします。
・メニューボタンを押すとディスク最初のメニュー画面に戻ります。
・音量ボタンは音量を調整します。
・画面モードボタンを押しますとパンスキャン4：3/レターボックス4：3/ワイド16：9の画面表示に切り替わります。

4：3パンスキャン

標準画面比率4：3に収まる様にトリミングしたワイドフォーマット画像を表示します。この場合両端をカットした映像になります。

4：3レターボックス

ワイドフォーマット画像を全画面表示します。黒色の帯が画面上下に表示されます。

16：9ワイド

ワイドテレビにワイドフォーマット画像を全画面表示します。お使いのテレビの設定により上記内容と異なることがあります。詳しくはお使いのテレビ説明書をご参照ください。

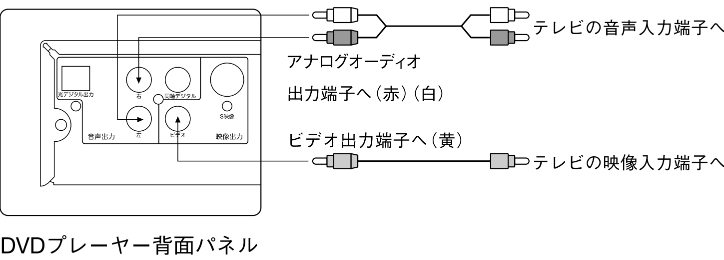
お知らせ　・画面に「⊘」マークが現われている場合は、操作することができません。

本機とテレビの接続

ピンプラグコードによる接続（標準）

先端のプラグが黄色いケーブルの片側を本機のビデオ出力端子（黄/ビデオ）に接続し、残りの片方をテレビの映像入力端子（黄）に接続します。同じように本機のアナログオーディオ出力端子/右（赤/オーディオ）とアナログオーディオ出力端子/左（白/オーディオ）のコードもテレビの音声入力端子/右（赤）と左（白）に接続します。

配線接続図

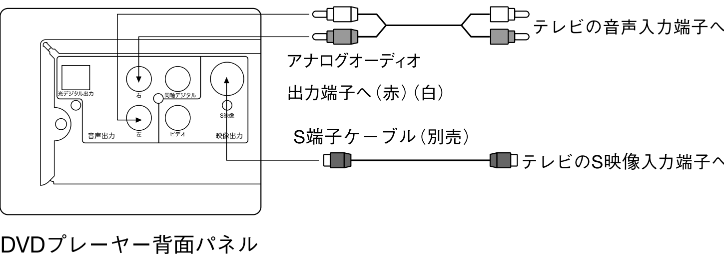


DVDプレーヤー背面パネル

S端子ケーブルによる接続（高画質）

S映像入力端子付きのテレビをお持ちの場合は、S端子ケーブル（別売）を使用することによってより良い画質でお楽しみ頂けます。S端子ケーブルの片方を本機のS映像出力端子に接続し、もう片方をテレビのS映像入力端子に接続します。

配線接続図



DVDプレーヤー背面パネル



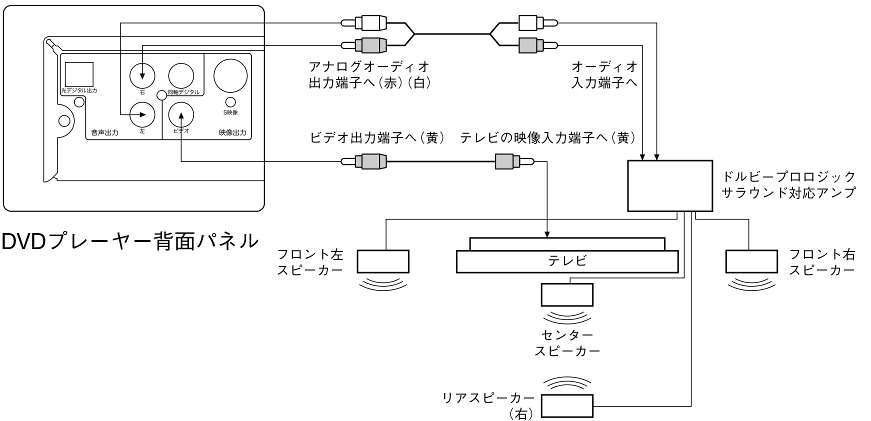
- 映像端子はS映像出力端子かビデオ出力端子（黄）のどちらか一方を選択してください。
- 接続の際は、接続するテレビの取扱説明書をご参照ください。
- ビデオ入力端子を持たないテレビに接続されている場合は、RFアダプターをお買い求めください。
- DVDプレーヤーをビデオデッキに接続されている場合は、コピーガード機能が働くため正常に再生されない場合があります。

オプション装置との接続方法

ドルビープロロジックサラウンド

左右の前面スピーカーと2個から3個のリアスピーカー及びセンタースピーカーにより構成されたサラウンドシステムです。お楽しみ頂くには、専用の対応オーディオシステムが必要です。

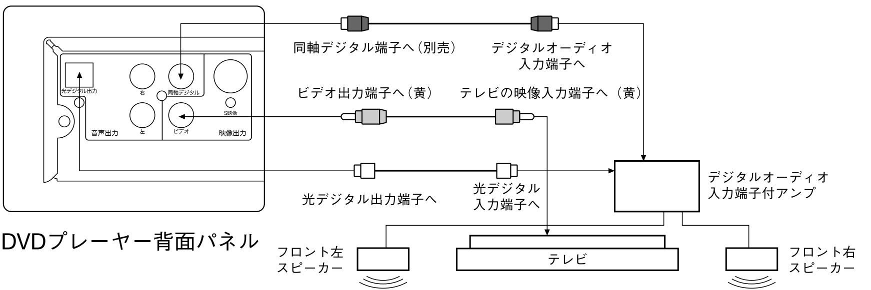
配線接続例



デジタルステレオサウンド

左右の前面スピーカーで構成されたサウンドシステムです。再生の為には専用の対応オーディオシステムが必要です。また接続には、光デジタル端子または、同軸デジタル端子用のケーブルが別途必要になります。音声出力端子は、光デジタルか同軸デジタルのどちらか一方を選択してください。

配線接続例



オプション装置との接続方法

ドルビーデジタル及びDTS

ドルビーデジタルとDTSプログラムは、5つの独立したチャンネルとサブウーハー用のチャンネルで構成されています。これらのサウンドは、対応したサウンド装置に接続するとお楽しみ頂けます。また、接続には光デジタルまたは、同軸デジタル用のケーブルが別途必要になります。音声出力端子は、光デジタルか同軸デジタルのどちらか一方を選択してください。

音声出力の設定方法

リモコンの初期設定ボタンを押すと設定メニューメイン画面が現れます。画面より一般設定を選択します。
つぎに音声出力をSPDIF/RAWに選択します。

配線接続例

光デジタル出力
右
同軸デジタル
S映像
音声出力
左
ビデオ
映像出力
同軸デジタル出力端子へ（別売）
ビデオ出力端子へ
テレビの映像入力端子へ（黄）
光デジタル出力端子へ
光デジタル
入力端子へ
デジタルオーディオ
入力端子付アンプ
テレビ

DVDプレーヤー背面パネル

⚠ ・対応のレシーバーに接続する時以外は、オーディオ出力選択でSPDIF/RAW出力を選択しないでください。突然大きい音が出て、スピーカーだけではなく聴覚に影響を与える恐れがあります。また、接続が終了するまで、電源は入れないでください。
接続の際は音声のダイナミックレンジが広いので、スピーカーへのダメージを避けるために最適な音量にご調整ください。

⚠ ・光デジタル出力端子からはレーザー光線が照射されています。その為端子には保護キャップが取り付けてあります。光デジタル端子からのレーザーを見たり、凝視しないでください。失明の恐れがあり危険です。また皮膚にも当てないでください。光デジタル出力端子を使用しない時は必ず保護キャップを付けてください。

お願い
・スピーカーへのダメージをさける為にアンプのボリュームを適度な再生レベルに調整し、また端子の接続や、取り外しの際はスピーカーへのダメージをさける為に、アンプの電源をお切りください。
・オプション装置への接続方法については、それぞれの取扱説明書を必ずお読みいただき接続を行ってください。

ディスクの再生

DVDビデオの再生方法

テレビの電源を入れます。DVDプレーヤーが接続されている入力画面を選択します。

1 フロントパネルの電源ボタンを押します。
2 開/閉ボタン[⏏]を押します。
3 ディスクトレーにディスクを乗せ[決定/再生/▶]ボタン又は開/閉ボタン[⏏]を押します。
4 自動的に読み込みが始まります。
自動的に読み込みが始まらない場合は、[決定/再生/▶]ボタンを押してください。

⚠ ・ディスクはディスクトレーに正しく乗せ開閉操作をしてください。ディスクトレーの開閉操作はリモコンまたは、本体の開/閉ボタン[⏏]で必ず操作してください。それ以外の方法で行いますと、本体及びディスク故障の原因になります。

お知らせ
・DVDを鑑賞されている時にノイズが気になる場合は、テレビのシャープネスを下げると落ちついた画像になります。またノイズは、DVDプレーヤーの接続されているテレビの性能にも左右されます。
・再生ディスクは本体内部で高速で回転している為、停止に時間がかかることがあります。開/閉ボタン[⏏]を押してもディスク保護機能が作動し出てくるまで時間がかかることがありますが、故障ではありません。

メニュー画面からの再生スタートの方法

ディスクの再生が始まるとメニュー画面へ移ります。メニュー画面へ移らない場合は、メニューボタンを押してください。[◀・▶・▲・▼]ボタンまたは、数字ボタンを押しタイトルを選択します。[決定/再生/▶]ボタンを押すと選択したタイトルを再生します。

再生一時停止の方法

再生中に一時停止ボタン[II]を押します。
通常再生に戻すには、一時停止ボタン[II]または、[決定/再生/▶]ボタンを押します。

ディスクの取り出し方法

開/閉ボタン[⏏]を押すとトレーが開きます。
ディスクを取り出し、再度、開/閉ボタン[⏏]を押しディスクトレーを閉めます。

再生停止の方法

停止ボタン[■]を押します。

⚠ ・タイトルの最初から再生する場合は、停止ボタン[■]を2度押してから[決定/再生/▶]ボタンを押してください。
・メニュー画面を長時間テレビに映し出していますと画面焼けの原因になりますので、停止ボタン[■]を押して下さい。

ディスクの再生

続き再生機能

本製品は再生中にストップした場所から再生を再開する機能を備えています。

1 再生中に停止ボタン[■]を押します。
2 [決定/再生/▶]ボタンを押します。最後に再生をストップした場所より再度再生します。

⚠ 下記の状況では、続き再生機能はキャンセルされます。
・停止ボタン[■]を押した後に電源プラグを抜いたとき。
・ディスクを取り出したとき。
・ペアレンタルロックの設定を変更した場合。
・AUDIO CD、MP3 CDではこの機能はご利用できません。

スピード再生の操作方法

2倍速・4倍速・8倍速・16倍速で再生することができます。

1 再生中にスピード再生ボタン[◀◀・▶▶]を押します。
2 1度押すと再生スピードが2倍速になり[◀◀・▶▶]ボタンを押すごとに変化します。
[◀◀]ボタン：早巻き戻し　2倍速→4倍速→8倍速→16倍速→通常再生
[▶▶]ボタン：早送り　2倍速→4倍速→8倍速→16倍速→通常再生
3 通常再生に戻すには、[決定/再生/▶]ボタンを押してください。
またはスピード再生ボタン[◀◀・▶▶]を通常再生に戻るまで押してください。

⚠ ・スピード再生中は音声及び、タイトルは表示されません。また上記の再生速度は、おおよその数字です。

フレームごとの再生

1 再生中にコマ送りボタンを押します。
2 コマ送りボタンを押すごとにフレームを先に進めます。
3 通常再生に戻すには、[決定/再生/▶]ボタンを押します。

⚠ ・AUDIO CD、MP3 CDでは、この機能をご利用することはできません。

スローモーション再生

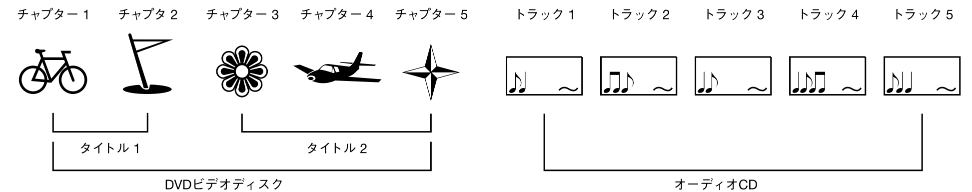
本機は下記のスピードでスローモーション再生が可能です。

1 再生中にスロー再生ボタンを押すごとに、下記のスロー再生速度に変化します。
1/2倍速→1/4倍速→1/8倍速→1/16倍速→1/2倍速→1/4倍速→1/8倍速→1/16倍速→通常再生
スロー再生　**巻き戻しスロー再生**
2 スロー再生より通常再生に戻る場合は、[決定/再生/▶]ボタンを押してください。
またはスロー再生ボタンを通常再生に戻るまで押してください。

⚠ ・スローモーション再生中は音声及び、タイトルは表示されません。また上記の再生速度は、おおよその数字です。
・AUDIO CD、MP3 CDでは、この機能をご利用することはできません。

タイトル、チャプターまたは、トラックの位置出し

DVDビデオはタイトルで大分類され、タイトルはチャプターにより小分類されています。オーディオ用CDはトラックで分けられています。



タイトルの選択及び再生

1 タイトルボタンを押します。
2 [◀・▶・▲・▼]ボタンで希望のタイトルを選択するか、またはタイトル番号がわかる場合は、直接番号ボタンで入力してください。
3 [決定/再生/▶]ボタンを押すことにより、選択したタイトルのチャプター1より再生が始まります。

⚠ ・再生するディスクによりこの操作方法で対応しないものもあります。画面に異なるタイプの操作画面が、現れた場合は、その画面に従ってください。上記表示の操作方法は一般的なものに関して説明しています。操作方法はお使いのディスクにより異なります。

チャプター及びトラックの位置出し

本編再生中にスキップサーチで希望のチャプターまたは、トラックを表示することができます。

1 スキップサーチボタン[|◀◀・▶▶|]を押すごとに、次のチャプターやトラックが表示されます。
2 チャプターやトラックを進める時は、[▶▶|]ボタンを押します。
3 チャプターやトラックを戻す時は、[|◀◀]ボタンを押します。

⚠ ・再生するディスクによりチャプターが表示されない場合があります。

タイトルの検索

DVDにタイトル番号情報がある場合は、直接番号検索ができます。

1 頭出ボタンを再生中に押します。
2 ご希望のタイトル番号を入力します。

お知らせ ・数字ボタンの[+10]を押すことで単位を十桁ずつ増やすことができます。

[◀・▶・▲・▼]ボタンを押すことによりタイトルおよびチャプターの移動が出来ます。時間情報を表示する時は、頭出しボタンを2回押します。

リピート再生機能

本機はタイトル、チャプター、トラック及び、任意に設定された区間（A-Bリピート）をリピート再生することができます。

タイトル/チャプター及びトラックのリピート再生方法

1 本編再生中にリピート再生したいタイトル、チャプターまたは、トラックを選択します。
2 リピートボタンを押します。

リピートボタンを押すたびにチャプター/タイトル/オール/解除の順で、リピート再生のモードが切り替わります。

任意設定区間のリピート再生方法（A-Bリピート）

1 本編再生中に希望のリピート区間の最初で簡易リピートボタンを押します。（ポイントA）
2 本編再生中に希望リピート区間の最後で再度簡易リピートボタンを押します。（ポイントB）
3 通常再生に戻す時は簡易リピートボタンを再度押します。

⚠ ・希望リピート区間がマルチアングルの映像にあたる場合は、この機能はご使用出来ません。またご使用するディスクにより、この機能が使えない場合があります。

ランダム再生機能

本機は、タイトル中のチャプター及びトラックをランダム再生することができます。

タイトルのランダム再生

本製品は自動的にDVDディスク中のタイトルをランダムに選び再生することが出来ます。

1 ランダムボタンを押します。
2 ランダム再生を解除するには、ランダムボタンを再度押します。

⚠ ・ランダム再生中にスキップサーチボタン[I◀◀・▶▶I]を押すと、他のチャプターまたは、トラックに移り、ランダム再生を継続します。

ズーム機能

通常再生中または、スロー再生中にズーム機能を使うことができます。

1 通常再生中または、スロー再生中に可変ズームボタンを押すと表示画面の中央を拡大します。
2 可変ズームボタンを押すごとに、2倍、3倍、4倍、1/2倍、1/3倍、1/4倍の順番で拡大倍率が変わります。
3 ズーム再生中に[◀・▶・▲・▼]ボタンを使う事により、拡大する場所を移動することができます。
4 通常再生に戻る場合は、可変ズームボタンを通常再生に戻るまで押します。

カメラアングル及び吹き替えの選択

再生時のカメラアングル及び吹き替えの選択が可能です。

カメラアングルの切り替え方法

1 マルチ録画でとられたDVDを再生中にアングルボタンを押します。
2 アングルボタンを押すたびに、映し出される映像の角度が変わります。

⚠ ・マルチアングル録画されていないDVDソフトでは、この機能は働きません。マルチアングルのシーンを再生している時は、カメラのアイコンが表示されます。

吹き替えの選択方法

本機は、吹き替えの選択が可能です。

1 再生中に音声選択ボタンを押します。

AUDIO 1/3 : AC3 5.1CH ENGLISH

吹き替え言語
Dolby AC-3
Total Audio Channels
Current Audio Position

2 元に戻るには、再度音声選択ボタンを押します。

AUDIO 2/3 : AC3 5.1CH FRENCH
⬇
AUDIO 3/3 : AC3 5.1CH SPANISH
⬇
AUDIO 1/3 : AC3 5.1CH ENGLISH

⚠ ・再生するディスクに複数の吹き替え言語が設定されていない場合は使用することができません。

プログラム再生機能

ご希望のタイトル、チャプター及びトラックを選択してお好みの順番で、再生することができます。

タイトル、チャプター及びトラックのプログラム再生方法

プログラム再生は自動的にチャプターまたは、トラックをプログラムした順番で再生します。
プログラムは1〜20まで設定できます。

1　ディスクを入れ、次にプログラムボタンを押します。下記のようなメニューが表れます。

プログラム：TT（XX）/ CH（ーー）	
1 TT:　CH:	6 TT:　CH:
2 TT:　CH:	7 TT:　CH:
3 TT:　CH:	8 TT:　CH:
4 TT:　CH:	9 TT:　CH:
5 TT:　CH:	10 TT:　CH:
終了	次［▶▶I］

2　［◀・▶・▲・▼］ボタンでプログラムを選択し、［決定/再生/▶］ボタンを押します。

まず、タイトルNoを選択します。全タイトル数は上部に表示されるTT（XX）に表されますのでお好みの番号を数字キーにて入力してください。次にチャプターNoを選択します。タイトル内の全チャプター数はタイトルNoを選択すると上部に表示されるCH（ーー）に表されますので、同様に入力してください。プログラムをひとつキャンセルする時はクリアを押します。

プログラム：TT（XX）/ CH（ーー）		
1 TT:　CH:		6 TT:　CH:
2 TT:　CH:		7 TT:　CH:
3 TT:　CH:		8 TT:　CH:
4 TT:　CH:		9 TT:　CH:
5 TT:　CH:		10 TT:　CH:
終了	スタート	次［▶▶I］

3　［◀・▶・▲・▼］ボタンを押してメニューの中でスタートを選択し、次に［決定/再生/▶］ボタンを押します。

プログラムの順序を入れかえる場合は、停止ボタン［■］を押します。手順1に戻り操作し直します。
プログラム再生をキャンセルする場合は、停止ボタン［■］を押し、次に［決定/再生/▶］ボタンを押します。（通常再生に戻りますが、プログラムの内容はクリアされません）

⚠ ・DVDプレーヤーの電源を切ったり、ディスクを取り出しますと、プログラムされた内容は、消去されます。

サブタイトル（字幕）の選択

本機はサブタイトルの選択が可能です。

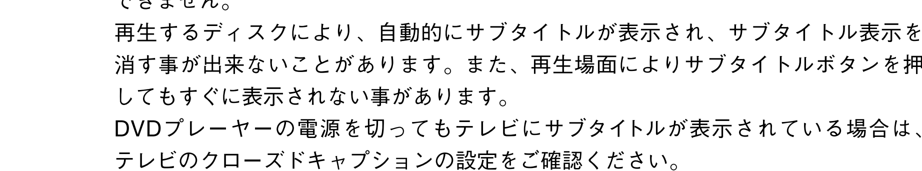
サブタイトルの選択方法

サブタイトルボタンを押します。ボタンを押すごとに、下記の様にサブタイトルが表示されます。

サブタイトル ⬇ 1/03:ENGLISH
サブタイトル ⬇ 2/03:SPANISH
サブタイトル ⬇ 3/03:FRENCH
サブタイトル ⬇

サブタイトル表示を消すには、サブタイトルボタンをサブタイトルオフになるまで押します。

サブタイトルオフ ⬇



⚠ ・再生するディスクに複数のサブタイトルが設定されていない場合は使用することができません。
再生するディスクにより、自動的にサブタイトルが表示され、サブタイトル表示を消す事が出来ないことがあります。また、再生場面によりサブタイトルボタンを押してもすぐに表示されない事があります。
DVDプレーヤーの電源を切ってもテレビにサブタイトルが表示されている場合は、テレビのクローズドキャプションの設定をご確認ください。

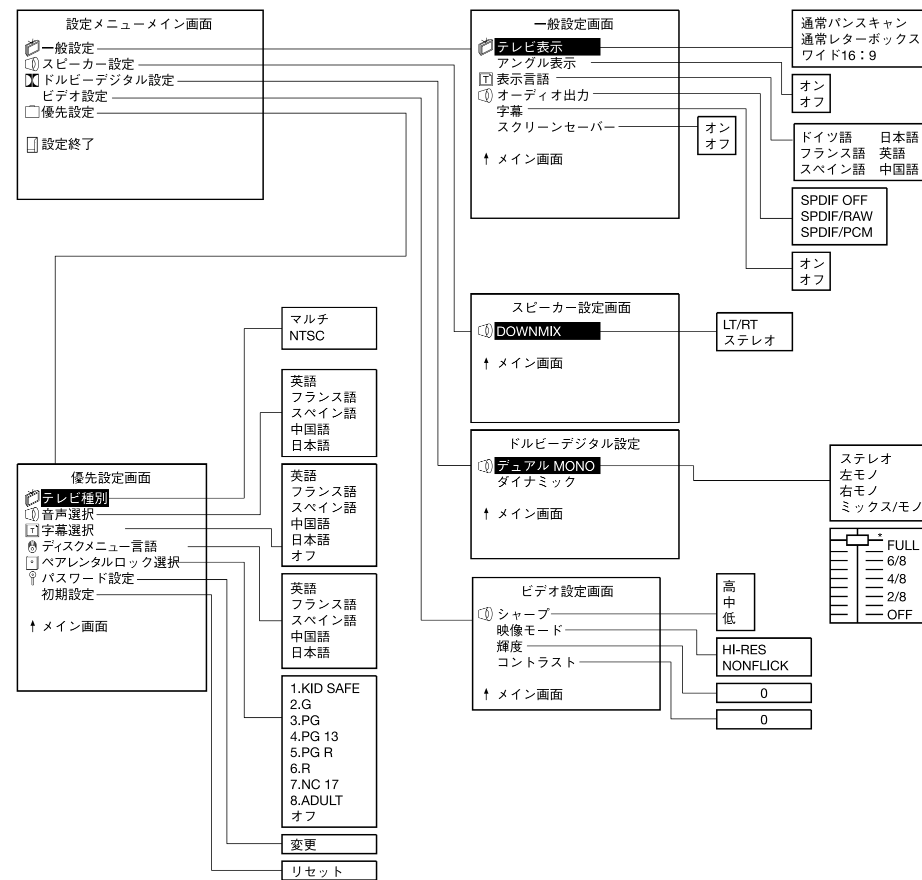
機能設定の方法

本機はお好みにより、下記の機能の設定を変更することができます。

設定メニューメイン画面の表示

1 初期設定ボタンを押すと下記の各メニューが表れます。
一般設定/スピーカー設定/ドルビーデジタル設定/ビデオ設定/優先設定
2 [◀・▶・▲・▼]ボタンを使い項目を選択して[決定/再生/▶]ボタンを押します。
3 設定を終了する場合は設定終了を選択し[決定/再生/▶]ボタンを押すか初期設定ボタンを押します。

お知らせ ・前の画面に戻る時はメイン画面を選択し[決定/再生/▶]ボタンを押して下さい。



各設定の内容

一般設定
・テレビ表示
「通常パンスキャン」「通常レターボックス」「ワイド16：9」の画面に切り替える機能です。リモコンの[画面モード]ボタンと連動しているため、この画面で設定した後、リモコンでも設定を変更することができます。各画面詳細については10ページをご参照下さい。
・アングル表示
カメラアングルの切り替え機能のオン、オフを設定することができます。
・画面表示言語
画面に表示される言語を選択することができます。
・音声出力
SPDIFとはデジタル信号の規格で、本機においては13ページの「オプション装置との接続方法」の項で使います。切り替えについては、接続するドルビーデジタルシステムの取扱説明書に従って下さい。
・字幕
字幕を画面に表示するか表示しないかの選択をすることができます。
・スクリーンセイバー
ディスクが入っていない時の画面の焼きつきを防ぐため、オンを選択するとスクリーンセイバー機能が設定されます。

スピーカー設定
・DOWNMIX
ダウンミックス機能の設定をすることができます。LT/RTかステレオを選択して下さい。出荷時は、ステレオで設定されています。

ドルビーデジタル設定
・デュアルモノ
ドルビーシステム設定時にステレオ、左モノ、右モノ、ミックス/モノを設定することができます。
・ダイナミック
ダイナミックレンジ（最小音量と最大音量の差分量）を調整することができます。

ビデオ設定
・シャープ
シャープを高・中・低に設定することができます。
・映像モード
HI-RES（高解像モード）とNONFLICK（標準モード）の切り替えをすることができます。
出荷時はNONFLICK（標準モード）が設定されています。
・輝度
輝度の設定をすることができます。
・コントラスト
コントラストの設定をすることができます。

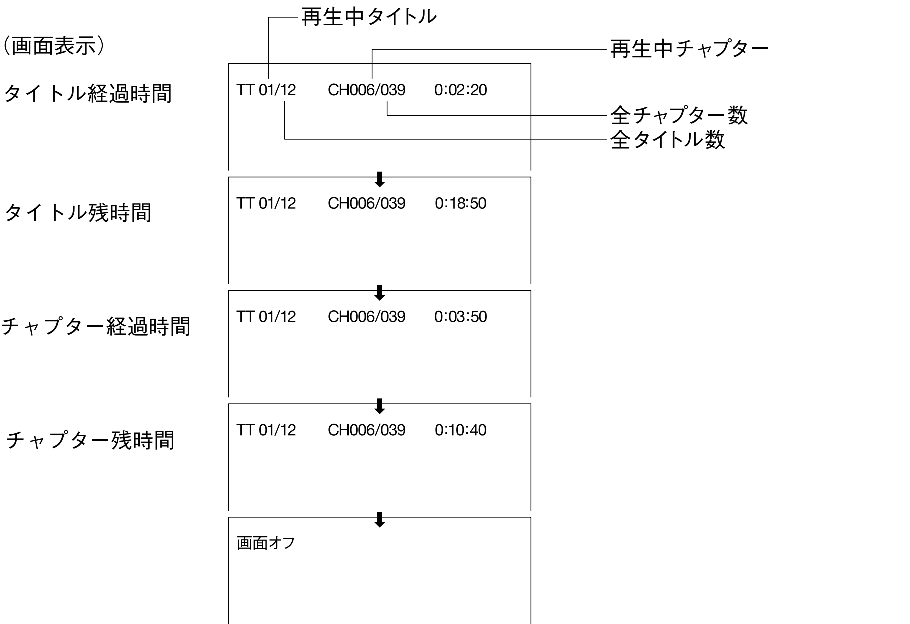
優先設定
設定する時は必ずトレーを空にした状態で設定して下さい。
ディスクに組み込まれていない機能には対応しません。
・テレビ種別
映像信号の切り替えを設定することができます。
・音声選択
音声の選択をすることができます。
・字幕選択
字幕（サブタイトル）を選択することができます。
・ディスクメニュー言語表示
ディスクのメニューの言語を選択することができます。
・ペアレンタル言語選択
ペアレンタルロック（視聴制限）の制限レベルを選択することができます。
・パスワード設定
ペアレンタルロックのパスワードを設定することができます。
旧パスワードと新パスワードを入力した後、確認のため再度新パスワードを「パスワード確認」へ入力して下さい。
・初期設定
出荷時の設定に戻すことができます。

再生時間表示機能

本機はテレビ画面でDVDディスクの再生時間情報を確認することができます。

再生時間情報の表示

再生中に画面表示ボタンを押すと「タイトル経過時間」「タイトル残時間」「チャプター経過時間」「チャプター残時間」を表示することができます。
ボタンを押すごとに切替ができます。



MP3ファイルの再生方法

MP3は新しいタイプの音楽ファイルのフォーマットで、インターネット上のMP3ウェブサイトなどを通じてご利用できます。尚、本製品はMP3オーディオファイル形式で録音したCD-R、CD-RWに対応しています。

MP3フォーマット形式で記録されたCDの再生方法

再生方法

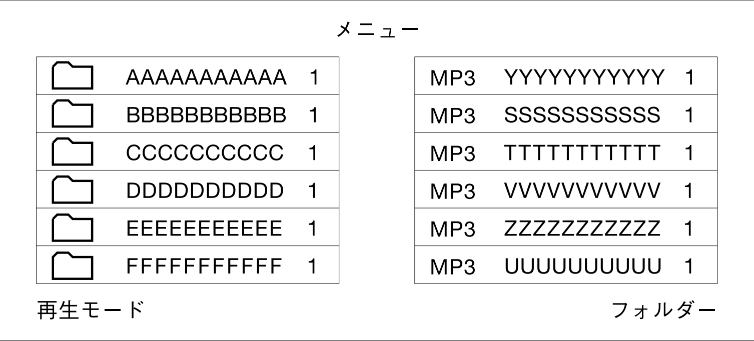
1　再生するには、テレビ画面上で確認しながら操作をする必要があります。開/閉ボタン[⏏]を押し、出てきたディスクトレーの上にMP3 CDを乗せ、再度同じボタンを押します。
ディスクトレーが閉まると、読み込みが始まり、メニュー画面にCD内のフォルダが表示されます。

2　リモコンのリピートボタンを押し、再生モードを選択します。
ボタンを押すごとにモードが切り替わります。
※ 通常再生　※ リピート1（一曲リピート）※ フォルダ内のリピート
ランダム再生をする場合はランダムボタンを押して下さい。

3　[▲・▼]ボタンを上下に動かして再生するフォルダを選択します。[決定/再生/▶]を押すと画面右にファイル一覧が表示されます。1回[▶]ボタンを押し、その後[▲・▼]ボタンを使い再生するファイルを選択して[決定/再生/▶]ボタンを押します。

4　曲を飛ばす場合はスキップサーチボタン[|◀◀・▶▶|]、曲を早送り、巻き戻しする場合はスピード再生ボタン[◀◀・▶▶]で操作します。曲を一時停止する場合は一時停止ボタン[II]、停止する場合は停止ボタン[■]を押してください。

5　他のフォルダを再生する場合は曲を停止させてから[◀・▶]ボタンを使い「戻る」を選択して[決定/再生/▶]ボタンを押すとフォルダの選択画面に戻ります。



⚠ ・画面左上には、フォルダーの名前が表示されます。画面右上には曲名およびフォルダーが表示されます。□の表示は、フォルダーを意味し、MP3ファイルではありません。最大11キャラクターの使用がフォルダーまたは、曲で使用可能です。ランダム再生はフォルダー内のみで使用可能です。

Kodak Picture CDの再生方法

通常の再生方法

1 Kodak Picture CDを入れると自動的にスライドショーが始まります。画像は、ほとんどのテレビサイズに対応しています。下記の15のスライドショーモードを選択することができます。
2 コダックボタンを押して選択します。ボタンを押すごとにモードが入れ替わります。

モード1：流れ上	モード6：右斜め流し	モード11：引きこみ中央 H
モード2：流れ下	モード7：左斜め下流し	モード12：引きこみ中央 V
モード3：流れ左	モード8：右斜め下流し	モード13：小窓 H
モード4：流れ右	モード9：引き伸ばし中央H	モード14：小窓 V
モード5：左斜め流し	モード10：引き伸ばし中央 V	ランダム

3 リモコンのリピートボタンまたはランダムボタンを押すと、画面左上に再生モードが表示されます。
リピート　＊リピート１（一画像リピート）　＊全てリピート　＊リピートオフ
ランダム　＊ランダム　＊標準モード
4 一時停止ボタン[II]を押すと画像を止めて見ることができます。スキップサーチボタン[I◀◀・▶▶I]で画像の先送り及び前の画像が再生されます。再生に戻るには一時停止ボタン[II]または[決定/再生/▶]ボタンを押してください。ディスクトレーにディスクを残したままにしますと画像が映し出されたままになり、画面焼けの原因になります。画像を見終わりましたら、停止ボタン[■]を押して開/閉ボタン[⏏]を押してディスクを取り出してください。

イメージの変換

再生または一時停止中に画像イメージを変換することができます。イメージの変換には「インバート（上下逆転）、ミラー（左右逆転）、左回転、右回転」の4つのモードがあります。スライドショー中にイメージ変換をするとスライドショーは一時停止します。
イメージの変換には[◀・▶・▲・▼]ボタンを使います。

[▲]インバート（上下逆転）/通常・[▼]ミラー（左右逆転）/通常・[◀]左回転・[▶]右回転

スライドショーを継続する場合は、[決定/再生/▶]ボタンを押してください。新しい画像が表示された場合、イメージ変換は自動的にキャンセルされます。

スライドショーの繰り返し

ズーム機能に関して本製品は50％から200％の間でズーム機能がはたらきます。可変ズームボタンを押すと、画面に（ズームON）の表示が出ます。スピード再生ボタン[◀◀・▶▶]を使い可変ズームのコントロールをします。[◀・▶・▲・▼]ボタンを利用し画像の表示を移動することができます。

⚠ ズームモードにおいてスライドショー及び、イメージ変換機能は働きません。

一覧表示

全画像を小画面で表示することができます。再生中にメニューボタンまたは停止ボタン[■]を押すとそれ以降の12枚の画像が表示されます。前後の12枚を見る場合はスキップサーチボタン[I◀◀・▶▶I]を使います。一覧表示から[◀・▶・▲・▼]ボタンを使い画像を選択して[決定/再生/▶]ボタンを押すと再生が始まります。

JPEGファイルの再生方法

JPEGとは

JPEGは（Joint Photographic Codintg Expert Group）の略称で、カラー静止画像を対象とした国際基準の圧縮符号化技術です。

JPEGファイルの再生

スライドショーで再生
1 再生するには、テレビ画面上で確認しながら操作をする必要があります。開/閉ボタン[⏏]を押し、出てきたディスクトレーの上にJPEG CDを乗せ再度同じボタンを押します。ディスクトレーが閉まると、読み込みが始まり、メニュー画面にCD内のフォルダが表示されます。

2 リモコンのリピートボタンを押し、再生モードを選択します。
ボタンを押すごとにモードが切り替わります。
※ 通常再生　※ リピート1（一画像リピート）※ フォルダ内のリピート
ランダム再生する場合はランダムボタンを押してください。

3 [▲・▼]ボタンを上下に動かして再生するフォルダを選択します。[決定/再生/▶]ボタンを押すと画面右にファイル一覧が表示されます。[◀・▶]ボタンを使い再生するファイルを選択して[決定/再生/▶]ボタンを押します。

4 スライドショーは画像の切り替えが自動的に一定間隔で行われます。早く切り替えるにはスキップサーチボタン[I◀◀・▶▶I]を使ってください。

5 スライドショー中にコダックボタンを押すと下記の15のスライドショーが選択可能です。
可変ズームボタンを押すとフォルダの選択画面に戻ります。

モード1：流れ上	モード6：右斜め流し	モード11：引きこみ中央 H
モード2：流れ下	モード7：左斜め下流し	モード12：引きこみ中央 V
モード3：流れ左	モード8：右斜め下流し	モード13：小窓 H
モード4：流れ右	モード9：引き伸ばし中央H	モード14：小窓 V
モード5：左斜め流し	モード10：引き伸ばし中央 V	ランダム

6 他のフォルダを再生する場合は[◀・▶]ボタンを使い「戻る」を選択して[決定/再生/▶]ボタンを押すとフォルダの選択画面に戻ります。

イメージの変換

再生または一時停止中に画像イメージを変換することができます。イメージの変換には「インバート（上下逆転）、ミラー（左右逆転）、左回転、右回転」の4つのモードがあります。スライドショー中にイメージ変換をするとスライドショーは一時停止します。新しい画像が表示された場合、イメージ変換は自動的にキャンセルされます。イメージの変換には[◀・▶・▲・▼]ボタンを使います。

[▲]インバート（上下逆転）/通常・[▼]ミラー（左右逆転）/通常・[◀]左回転・[▶]右回転

JPEGファイルの再生方法

ズーム

ズーム機能に関して本製品は50%から200%の間でズーム機能がはたらきます。ズームボタンを押します。画面に（ズームON）の表示が出ます。スピード再生ボタン[◀◀・▶▶]を使い可変ズームのコントロールをします。[◀・▶・▲・▼] ボタンを利用し画像の移動することができます。


ズームモードにおいてスライドショー及び、イメージ変換機能は働きません。

一覧表示

全画像を小画面で表示することができます。再生中にメニューボタンを押すとそれ以降の12枚の画像が表示されます。前後の12枚を見る場合はスキップサーチボタン[I◀◀・▶▶I]を使います。一覧表示から[◀・▶・▲・▼]ボタンを使い画像を選択して[決定/再生/▶]ボタンを押すと再生が始まります。スライドショーに戻る時は、画面下Slide Showを選択し、[決定/再生/▶]ボタンを押してください。画面下Menuを選択し、[決定/再生/▶]ボタンを押すとリモコンボタン操作の説明が表示されます。元の画面に戻る時は[決定/再生/▶]ボタンを数回押すと戻ります。

ペアレンタルロック（視聴制限）

お子様が誤ってDVDプレーヤーを操作することを防ぐ機能です。ディスクによっては、お子様へ見せたくないシーンをカットしたり、ディスク自体の再生を出来なくするなどの試聴規制レベルの設定がされているものがあります。また本機ではお子様が、設定レベルを変更しないようパスワード設定機能を有しています。
ペアレンタルロック機能を使うには、ご使用されるDVDがペアレンタルロックに対応していないとご使用することができません。

ペアレンタルロック（視聴制限）機能の設定方法

1　再生中に停止ボタン[■]を一度押します。
2　初期設定ボタンを押すと、設定メニューメイン画面が現れます。
3　優先設定を選択して[決定/再生/▶]ボタンを押します。
4　ペアレンタルロック選択を選びます。
5　制限のレベルを選択します。
6　[決定/再生/▶] ボタンを押します。
7　パスワードを入力します。出荷時は「3308」です。次に[決定/再生/▶]ボタンを押します。
8　設定を終了するには、初期設定ボタンを押します。

ペアレンタルロック機能のパスワードの変更に関して

1　上記のステップ1からステップ4の手順に従います。
2　パスワード設定を選択し変更へ進み[決定/再生/▶]ボタンを押します。
3　パスワード欄に今までのパスワードを入力します。
4　新パスワード欄に新しいパスワードを入力します。
5　パスワード確認欄に再度新しいパスワードを入力します。
6　[決定/再生/▶]ボタンを押します。
7　初期設定ボタンを押します。

故障かな？と思ったら

サービスを依頼される前に

故障かな？とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

画像が出ない	
原因	テレビの入力切り換えが正しく行われていますか？
処置	テレビの入力切り換えを、本機からの映像が映るように正しく切り換えて下さい。
原因	映像接続コードがしっかりと接続されていますか？
処置	映像接続コードをしっかりと差し込んで下さい。

音声が出ない	
原因	音声接続コードをつないでいる機器の入力切り換えが正しく行われていますか？
処置	音声コードをつないでいる機器の入力切り換えをディスクからの音声が出力されるように切り換えて下さい。
原因	音声接続コードがしっかりと接続されていますか？
処置	音声接続コードをしっかりと差し込んで下さい。

映像が上下に移動し安定しない	
原因	テレビ方式選択が誤っていませんか？
処置	リモコンの映像信号ボタンを押し、テレビの取扱説明書を参考に正しく選択を行って下さい。

黒と白の映像	
原因	コネクターのダメージが考えられます。
処置	映像コードを交換して下さい。

映像が明るくなったり暗くなったり、ノイズが出たりする。	
原因	コピー防止機能が働いている可能性があります。（ビデオデッキなどを通してみているときなど）
処置	テレビと直接接続して下さい。

ディスクの再生が始まらない	
原因	ディスクが汚れていませんか？
処置	ディスク再生面に指紋などの汚れや、傷がないことを確認して下さい。
原因	ペアレンタルロックが作動していませんか？
処置	ペアレンタルロックをキャンセル又は、レベルを調整して下さい。（初期状態3308）
原因	再生ディスクのリージョンコードが2番以外のものではありませんか？
処置	再生ディスクのリージョンコードを確認して下さい。

トレーが出てこない	
原因	再生中に突然ディスク取り出しボタンを押していませんか？
処置	ディスクはプレーヤー内部で、高速回転しているため、内部でディスクの回転が停止するまで取り出すことができません。取り出しボタンを押してしばらくお待ちください。
原因	リモコンで本体の電源をスタンバイ状態にしていませんか？
処置	再度リモコンの電源ボタンを押し、テレビの画面がブルーになっていることをご確認後、再度ディスク取り出しボタンを押してください。 ディスク取り出しボタンを連続して押しますと、誤動作の原因になりますのでおやめください。

音声出力種別

	DVD・ビデオ・ディスク							CD	MP3 CD
音声録音システム	Dolby Digital		MPEG2		Linear PCM 48kHz	Linear PCM 96kHz		PCM 44.1kHz	MP3
画面音声設定	SPDIF /RAW	SPDIF /RAW	SPDIF /RAW	SPDIF /PCM	SPDIF /RAW SPDIF /PCM	SPDIF /RAW	SPDIF /PCM	SPDIF /RAW SPDIF /PCM	SPDIF /RAW SPDIF /PCM
アナログオーディオ出力端子	–––	0	–––	0	–––	0	0	0	0
デジタルオーディオ出力端子	Dolby Digital bitstream	PCM（48kHz）	MPEG 2 bitstream	PCM（48kHz）	PCM（48kHz）	PCM（48kHz）	–––	PCM（44.1kHz）	PCM（44.1kHz）

仕様

電源	100V、50/60 Hz
消費電力	9W
質量	2.0kg
寸法（幅×高さ×奥行）	260×60×260mm
映像システム	MULTI / NTSC
レーザー	セミコンダクターレーザー　波長650mm
ビデオ出力	1.0V (p-p),75Ω negative sync.,ピンジャック×1
S-ビデオ出力	（Y）1.0V（p-p）,75Ω negative sync.,Mini DIN 4-pin×1 （C）0.286V（p-p）,75Ω
デジタルオーディオ出力	0.5V（p-p）,75Ω,ピンジャック×1
アナログオーディオ出力	2.0V（rms）,10KΩ,ピンジャック（L,R）×1
光デジタル出力	×1

仕様、外観は改良のため予告なしに変更する場合があります。